

北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰団体の取組

● GAP部門

新潟県農業大学校

- ・所在地:新潟県新潟市
- ・ほ場面積:34ha
- ・部門:人材育成の部
- ・品目(認証取得):米、いちご

○ 取組

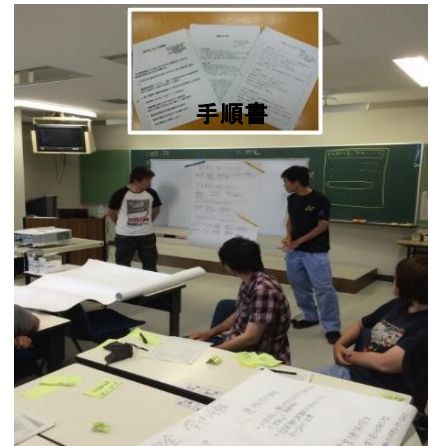
- 平成28年に全国の農業大学校で初となる GLOBALG.A.P.の認証を米で取得。さらに30年にはいちごも取得。
- GAP導入にあたり、クラブ活動としてではなく、正規の学習として2年間でGAPの知識とGAPを用いた管理を実践できるカリキュラムを整備。
- 生産工程に係るリスクの評価や手順書・マニュアルの作成により、登録切れで廃棄する農薬や燃料使用量の減少、ヒヤリハット事例の大幅な減少。さらには、管理の効率化を図るため、経営管理ツールの導入やドローンによる空撮を取り入れ、記帳等の労力や生育調査時間を大幅に削減。また、何よりも学生による改善提案の増加など学習効果を発揮。
- 認証取得を契機として、全国の農業大学校に先駆け香港・シンガポールへ米を輸出し、学生のグローバルな視野や経営感覚の醸成に寄与。
- 教育関係者のみならず、農業団体等も含め、県内外からの視察や相談を積極的に受け入れ、農業者向けのGAP研修会を開催するなど、GAPの普及・推進の拠点として貢献。

○ 今後の取組

- 今後とも、GAPを実践できる人材育成に取り組み、地域での認証GAP等の普及に協力し、地域の経営体が多く品目でGAPの研修ができる「GAPの普及啓発の拠点」としての機能を果たしていく考え。



講義(GAP導入演習)の様子



グループで作成した各種手順書の発表風景



大学校主催のGAP研修会で手順書等を説明